



特定非営利活動法人
フードバンク福岡

令和2年度調査結果報告書



令和2年度 福岡市共働事業提案制度採択事業
「フードバンクを活用した食品ロス削減啓発事業」

はじめに

「フードバンク」とは、まだ食べられるのに捨てられる食品（食品ロス）を企業等から集め、食品を必要とする方へ無償で配付する活動です。

「特定非営利活動法人フードバンク福岡」は平成 28 年から活動を開始していますが、食品の受取りを希望する団体等は増加傾向にあり、ご協力いただける企業の皆様を拡大していくことが大きな課題となっています。

令和 1 年度はまず、フードバンク活動がどういうものかをお知らせするために「フードバンク活用ガイドブック」を作成いたしました。しかし、ガイドブックを作成するなかで、食品関連企業の皆様から「興味はあるが、疑問や不安があって一歩踏み出せない」、そんなご意見をいただきました。

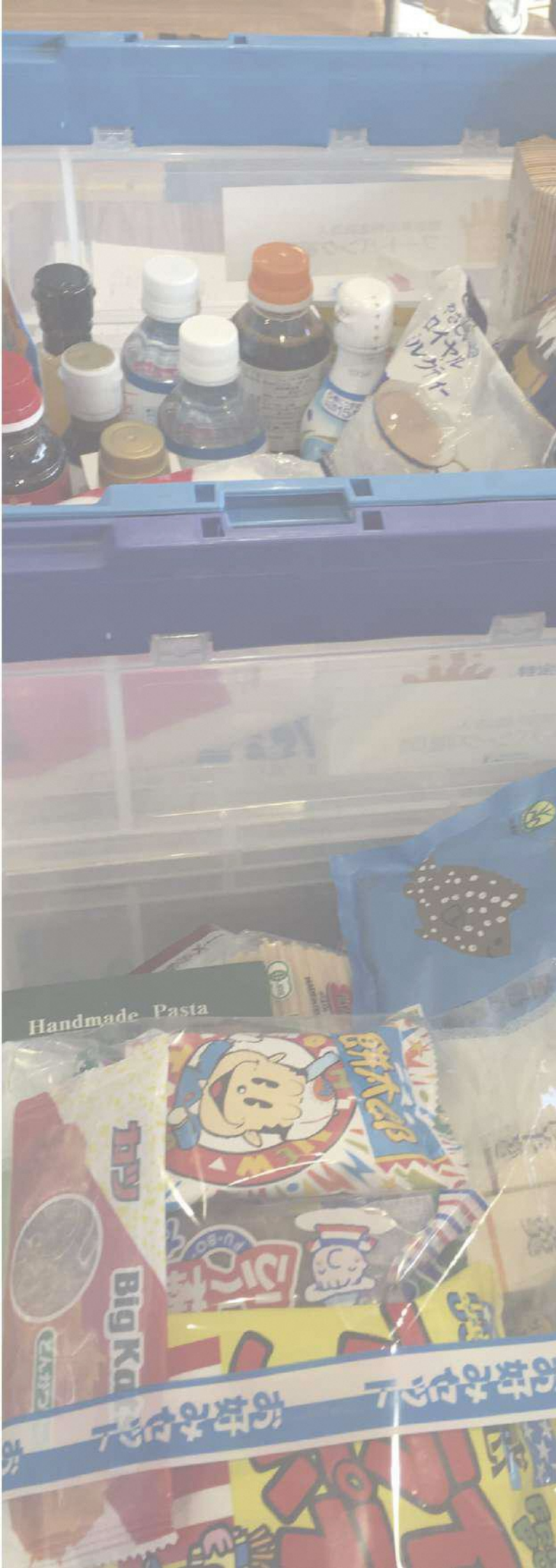
●提供された食品は、どういう団体に使われているの？

●提供した食品は、どのように管理されているの？

これらの意見を踏まえ、令和 2 年度は、食品の受取団体へのアンケート調査、食品提供企業へのヒアリング調査を行い、「フードバンク福岡 令和 2 年度調査結果報告書」を作成しました。

本冊子が皆様の疑問を解消し、フードバンクを利用する後押しとなれば幸いです。



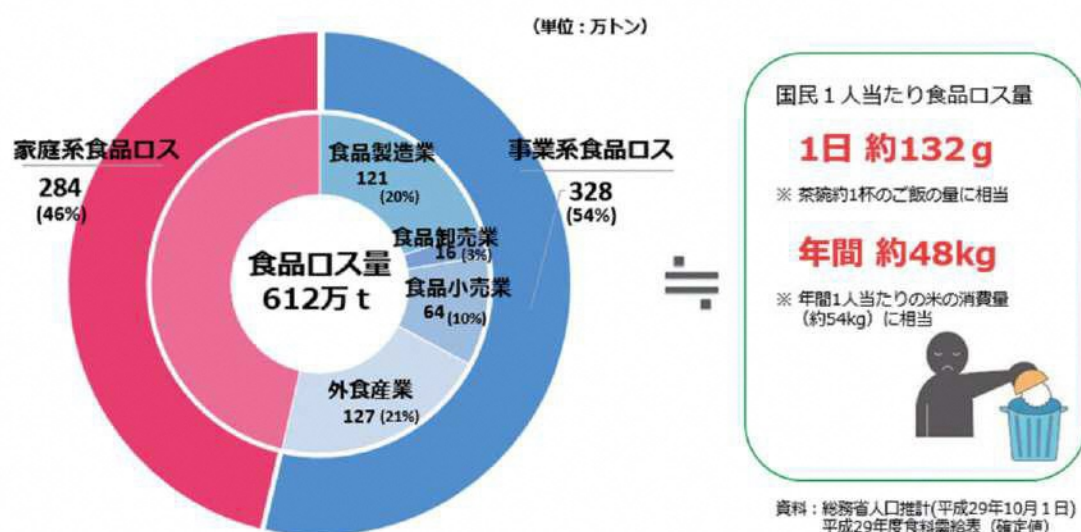


目次

食品ロスの現状	3
フードバンクとは	
受取団体アンケート調査結果	4
どんな受取団体とやり取りしているの？	
受け取った食材の活用方法は？	5
どんな食品を受け取っているの？	
食品の提供を受けようと思ったきっかけは？	6
フードバンクを利用して良かったことは？	
食品提供企業について考えていることは？	7
食品の取り扱いで注意していることは？	
受取団体から寄せられた意見	8
提供企業ヒアリング調査結果	9
食品提供企業の業種と食品種別	
調査結果	10
提供企業から寄せられた意見	11
食品提供してくれている企業	12
フードバンク福岡の活動支援について	13
フードバンク福岡連絡先	14

食品ロスの現状

日本では年間 612 万トンもの食品が、本来食べられるにも関わらず捨てられています。そのうち、328 万トンは事業所から出ています。(平成 29 年度農林水産省推計値)



廃棄される主な理由 (福岡県内の事例より)

- 賞味期限や消費期限が近くなったため
- 規格外品で流通できないため
- 余剰生産による在庫抱え
- ラベルの印字不良
- 季節商品が売れ残ってしまった
- 展示会やイベント、スポーツ大会などで余った
- 災害備蓄品の入れ替え 等

これらの食品は捨てずに、フードバンクをご活用ください。

フードバンクとは

フードバンクとは、食品を取り扱う企業や農業生産者等から、製造・流通過程などで出る余剰食品や規格外商品、販売店舗で売れ残った賞味期限・消費期限内の食品など、安全上は問題がなく、まだ十分食べられるにも関わらず廃棄されている食品 (いわゆる「食品ロス」) の寄附を受け、無償で必要な人や団体に提供する活動をいいます。



受取団体アンケート調査結果

調査概要

発送日：令和2年7月23日

発送件数：130件

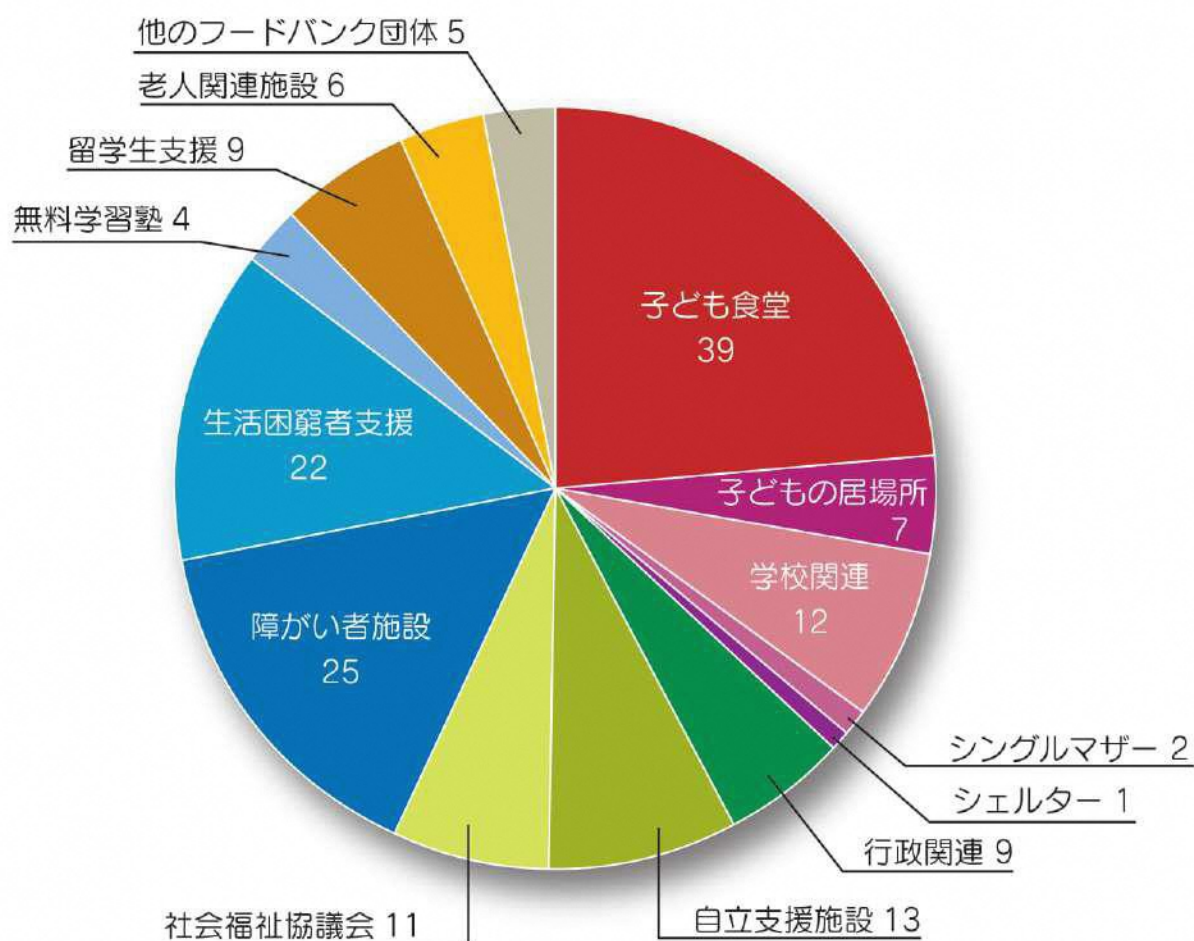
回答件数：78件



どんな受取団体とやり取りしているの？

フードバンク福岡では受取団体と、責任の所在を明確にし、転売はしないと明記した合意書を交わしています。令和3年2月末時点で合意書を交わしている団体は165団体にのびります。

合意書を交わしている受取団体（165団体）の内訳



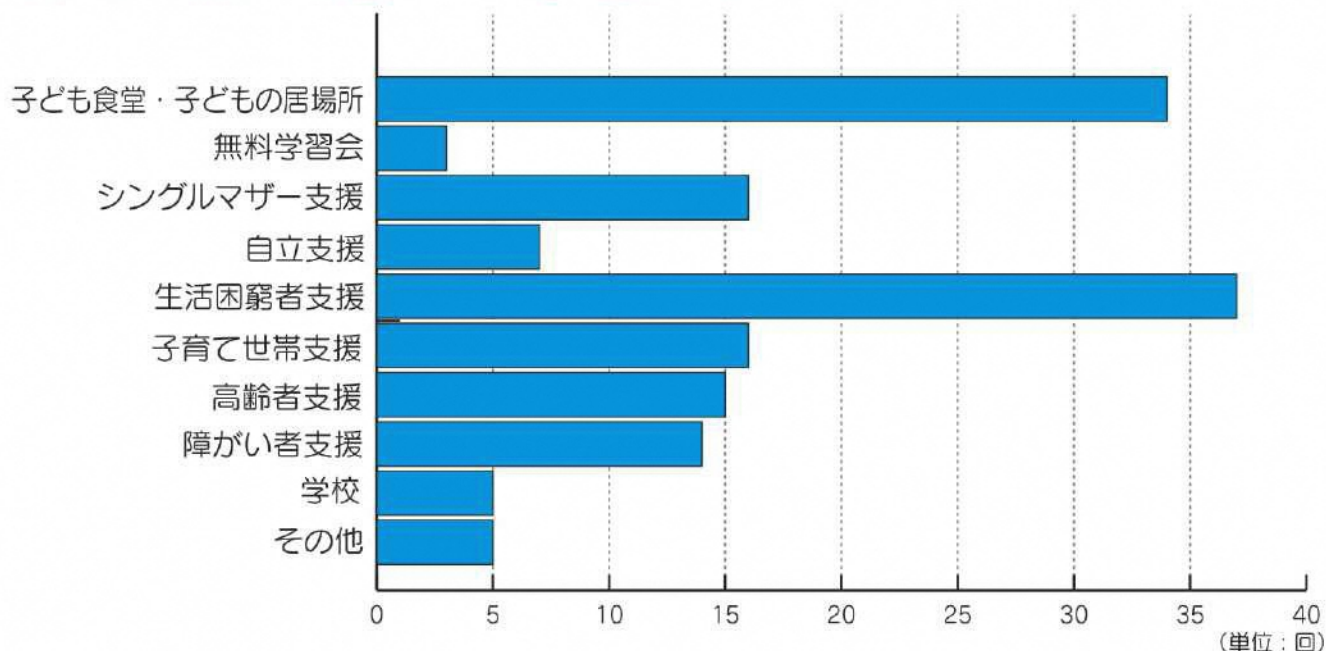
それぞれの主な活動は

- 子ども食堂：全体の2割程度をしめ、集会所や公民館で子どもを中心に食事を提供
- 学校関連：朝食サポートとしてバナナやパンを授業前に提供、個別対応として食事の提供が必要な子どもへ食品を提供
- 子どもの居場所：不登校の子や障がい者の子のための場所の提供
- シェルター：DV等を避けて親子で避難している施設
- 生活困窮者支援団体：ホームレスへの炊き出しや弁当の提供
- 障がい者施設：障がい者の自立や生活サポートを行う
- 行政・社会福祉協議会：福祉課の窓口等で相談に来られた方へ食品が必要な方へ生活困窮者セットを提供
- 老人関連施設：認知症の高齢者に対応している団体等で食事の一部としてフードバンクからの食品を使用
- 自立支援施設：養護施設を退所した子が一人立ちできるまで住居等の支援をおこなう団体や、刑務所を出所後、自立できるよう支援をおこなう団体等

受け取った食材の活用方法は？

多くの団体が子ども食堂や子どもの居場所、生活困窮者支援に食品を活用しています。また、最近では新型コロナウイルス感染症の影響により、留学生やシングルマザーの支援も増加しています。

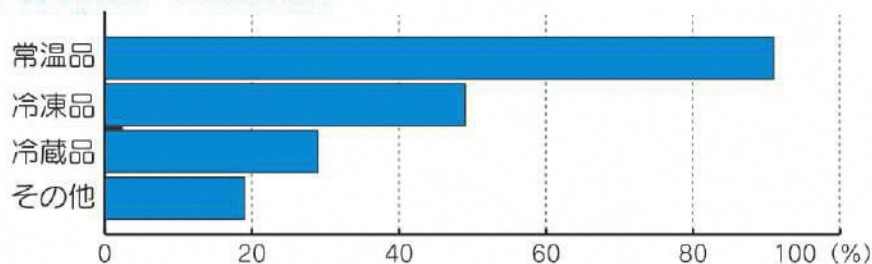
受け取った食品の活用方法について（複数回答）



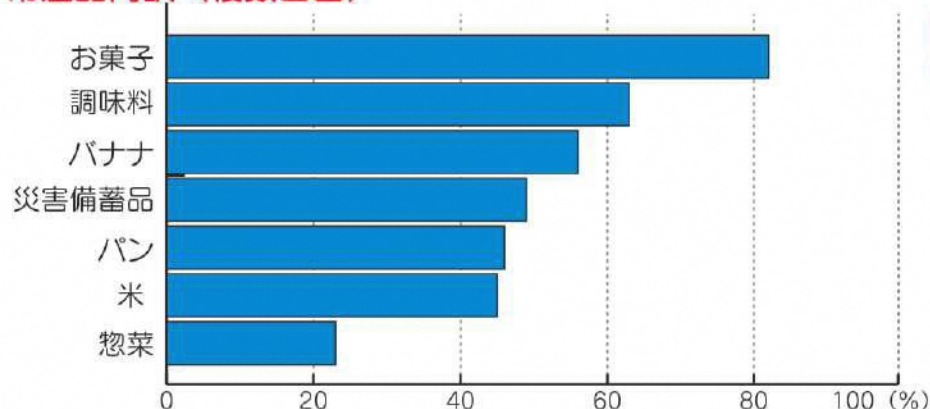
どんな食品を受け取っているの？

約9割の団体が常温品を受け取っていますが、保管設備の整っている団体では冷凍品や冷蔵品も受け取っています。

主な受取食品（複数回答）



常温品内訳（複数回答）



子どもたちにはお菓子やジュース、パン等が人気です。

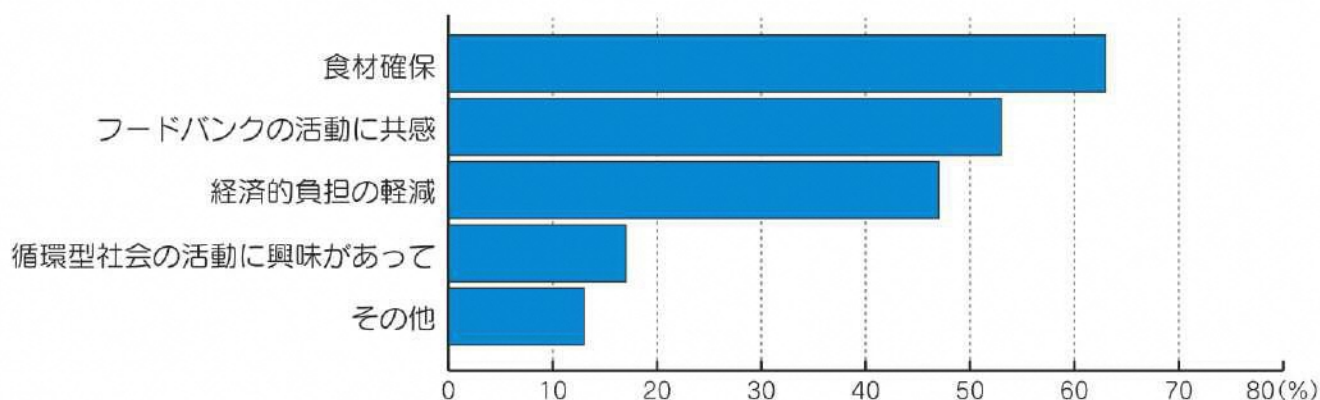
また、主食となる米や、調理のいらないインスタント食品は団体に関係なく人気です。



食品の提供を受けようと思ったきっかけは？

最も多かった回答は、食材確保でした。受取団体が利用者の皆様へ提供する食品の種類や量を増やし、食生活を改善したいという思いが伺えました。また、経済的負担の軽減に関して、受取団体によっては食品提供自体に対し補助金や予算が無い中活動しており、個人負担で賄っている状況があります。

フードバンクから食品の提供を受けようと思ったきっかけや目的（複数回答）

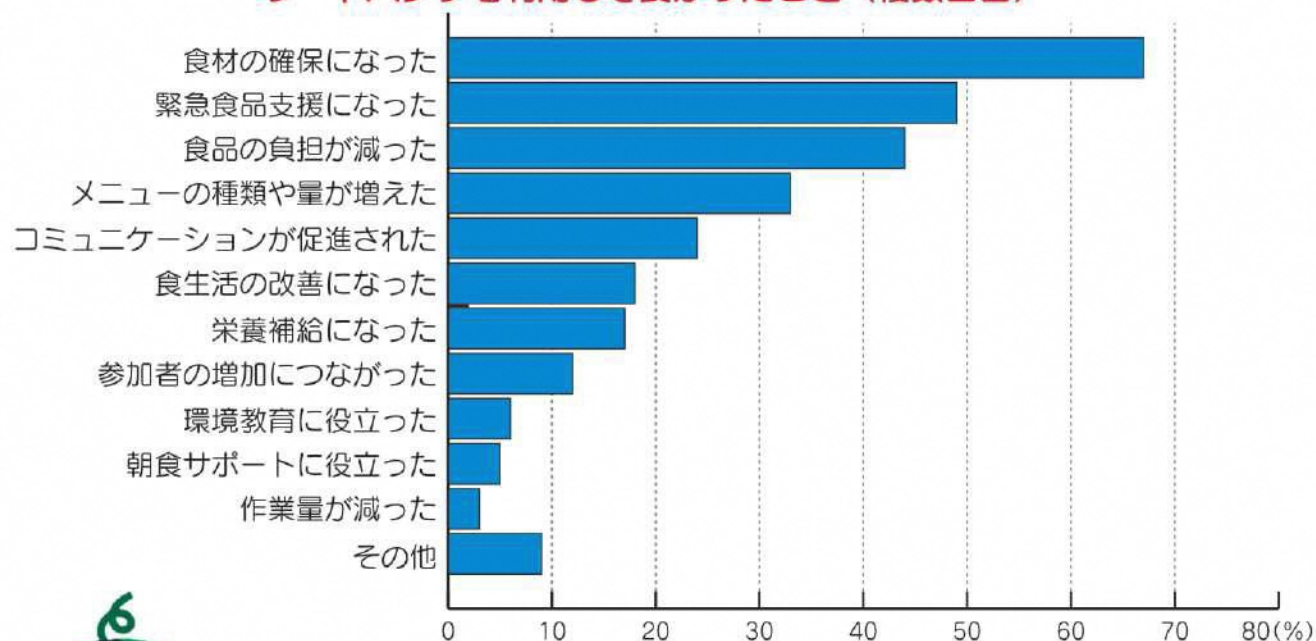


フードバンクを利用して良かったことは？

回答の上位には食材の確保や緊急支援の項目があげられており、フードバンクが食事自体をとれていない状況の方（給食以外に食事をとる機会がない、仕事が無くひっ迫した状態にある等）に対する支援となっていることがわかります。

また、食生活の改善にも多く回答があっており、企業等の皆様からいただいた食品によって、偏った食生活が改善されていると言えます。

フードバンクを利用して良かったこと（複数回答）



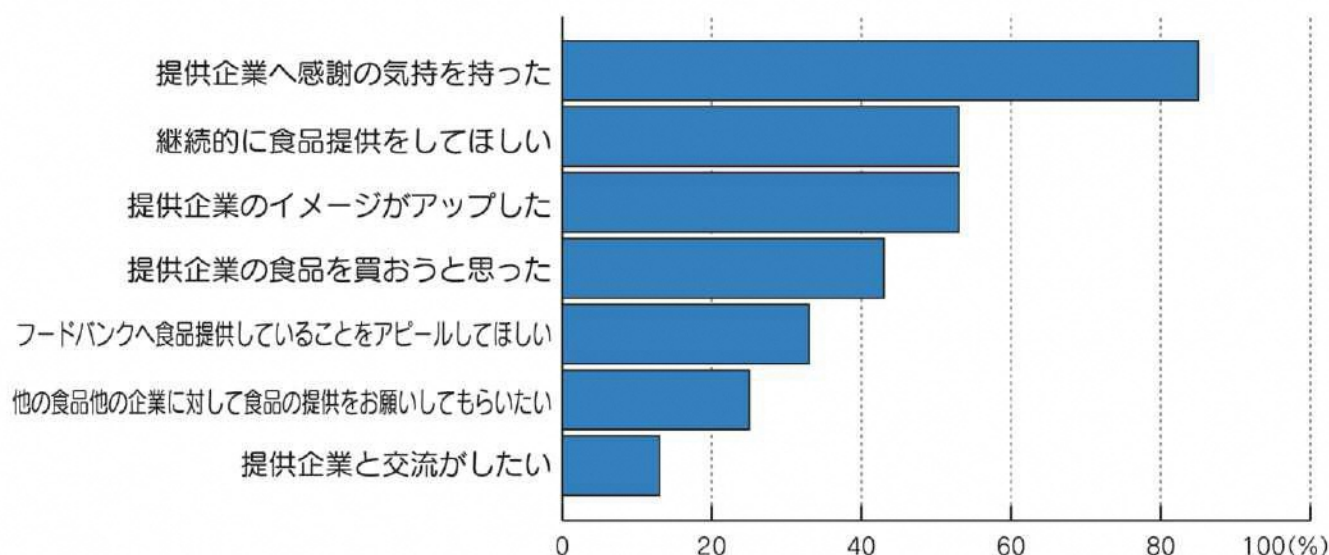
スイカを食べたことがない子どもが、初めて食べたスイカの思い出等、食べることの楽しさを体験する機会にもなっています。

食品提供企業について考えていることは？

食品を提供している企業に対し、ほとんどの受取団体が感謝の気持ちをもっていました。また、提供企業のイメージがアップした、提供企業の食品を買おうと思ったという回答も多く寄せられました。

7割の受取団体が、こういった企業に対する思いを伝えたいとも考えていることがわかりました。

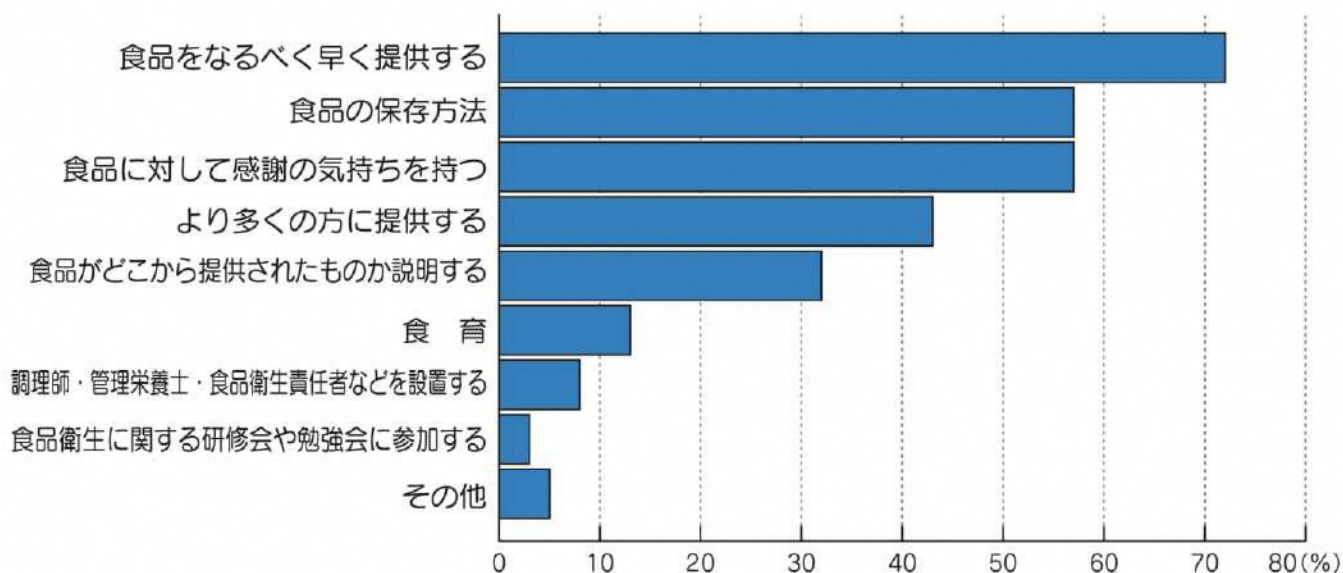
食品提供企業に伝えたいこと（複数回答）



食品の取り扱いで注意していることは？

最も多かった回答は食品をなるべく早く提供すること、次いで食品の保存方法を守ること、食品に対して感謝の気持ちを持つこととなっており、食品の安全性確保に気を付けていることがわかりました。また、提供元の説明を行っている団体も多く、企業等からの提供にはじまり、実際に食べるまでのプロセスを大事に考えていることもわかりました。

食品を受け取るにあたり、気を付けていること（複数回答）



受取団体から寄せられた意見

いつも良い品をたくさんいただいて、本当に感謝しています。たくさんの食材を頂けるようになって、メニューには炊き出しとは思えない、立派なおかずが並ぶようになりました。来場者も来るとメニューボードを見て、「きょうのごはんは、おいしそうだね」と言われるようになりました。これからもよろしくお願いいたします。

フードバンクの活動に敬意を表しています。また、よいものを提供してくださる企業様にも感謝です。賞味期限があると、より多くの生活困窮の方々、子どもたちへ配布できます。感謝！

いつも大変お世話になり、ありがとうございます。毎週食品が届くことを利用者さんもととても楽しみにされ、活動も潤い助かっております。提携前は、食べ物もお金もない利用者さんの対応に、非常に苦慮しておりましたが、フードバンクさんのおかげで、そのような困りごとがなくなり、活動の中で提供している食事の幅も広がって、本当に感謝しております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

この活動を通して、留学生に日本の食についての理解を深めてもらえると嬉しいのですが、現状すべての食品について説明をすることが困難です。可能であれば、食品提供企業のチラシやパンフレット等を食品と一緒に頂ければ、配布の際、学生に配ることができるのでありがたいです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



提供企業ヒアリング調査結果



調査概要

企業数：13 件

期 間：令和2年 11 月 30 日

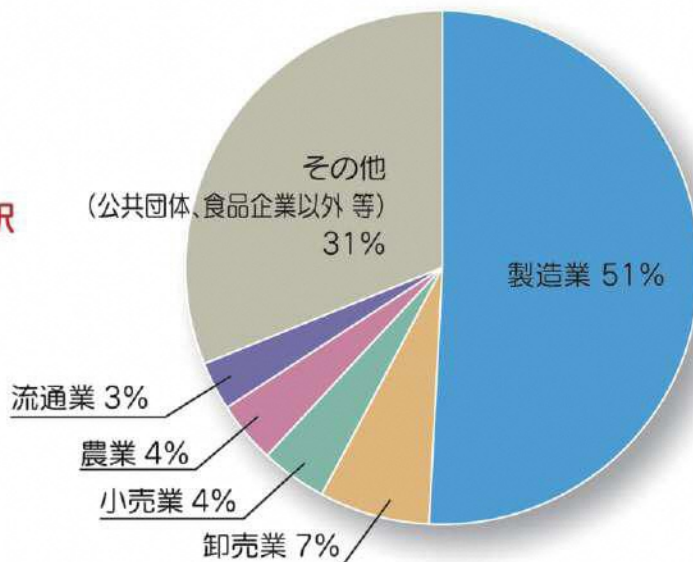
12 月 4、9、10、14 日

食品提供企業の業種と食品種別

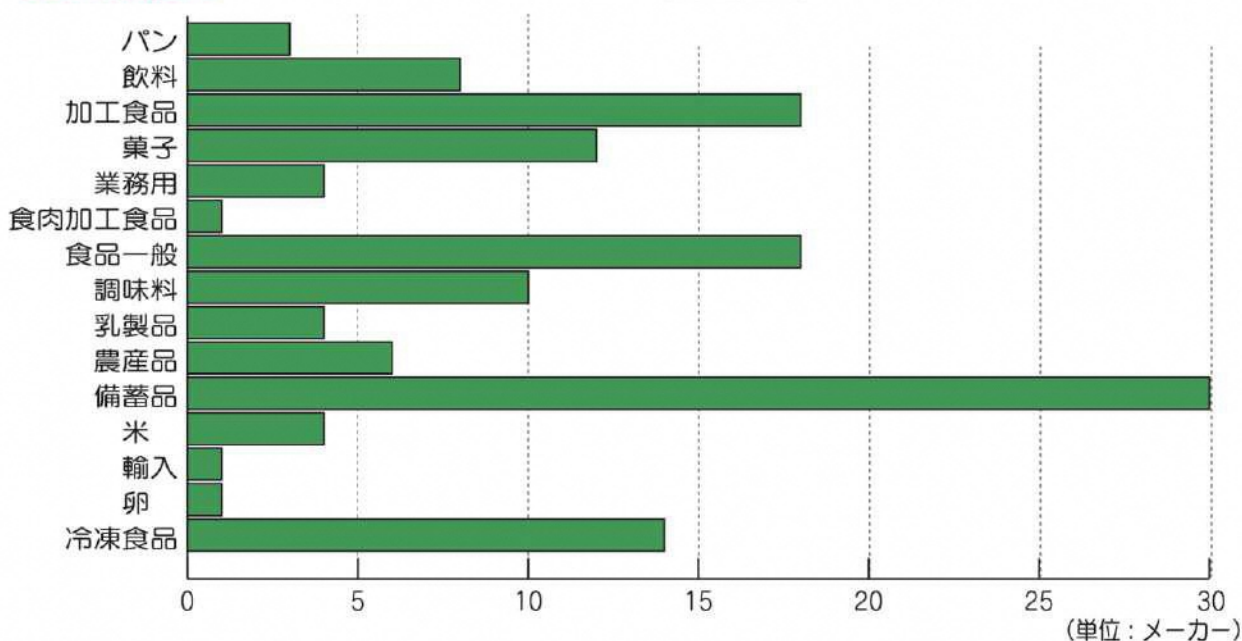
フードバンク福岡では提供企業とも合意書を交わしています。合意書を交わしている提供企業は令和3年2月時点で134社にのぼります。業種としては、製造業が51%と最も多く、次の「その他」に該当する企業のなかでは、食品関連以外の企業での提供食品の多くは備蓄品の提供があげられます。また、コロナの影響で施設の休業に伴い販売できなかった販売用のお土産やギフト商品等も含まれます。提供いただいている商品としては、食品、飲料、菓子とあわせ、冷凍食品や農産品も増加しています。

また業務用食品も今年度は増加しています。備蓄品については福岡市より5トン提供いただくなど全体の22%になっています。

合意書を交わしている 提供企業（134 社）の内訳



提供食品品種



調査結果（複数回答あり）

ヒアリング調査の結果、食品ロスはなくしたいと願い、また社会貢献も行いたいという思いがどの企業にもあることが確認されました。フードバンクのしくみと認知度については、企業全体で取り組む場合と個人的に興味を持って取り組む場合によって、認知度イメージに大きな差があることが分かります。会社全体で取り組む場合、社内全体への周知がなされるなど、食品ロス削減への大きな推進力になっていると感じられます。

食品ロスの発生状況（理由）

原材料や仕入れ契約、余剰仕入れ	5
出庫期限・納品期間や1/2、1/3ルール	4
欠品しないように在庫を持つため	4
賞味期限	4
規格外	2
売れ残り	2
サンプル	2
返品不可	1
入力ミス	1
休校措置	1
返品	1
売り上げ減	1
変色	1

食品ロスのイメージ

もったいない、心苦しい、出ないようにしたい	5
どこまでが食品ロスなのか。可食部分を示す	4
フードバンクを活用し廃棄しないようにしたい	3
食品ロスを再認識してほしい	2
出るのが当たり前	1
悪いイメージ	1
先進国ほど多いイメージ	1
一般の人が知らないのでは	1
賞味期限切れのものが販売できない	1
別管理している	1
賞味期限の見直し、延長の検討	1
廃棄金額が大きい	1
製造ロットの精度を上げる努力をしている	1

フードバンクのしくみと認知度

認知度は低い	4
社内で認知度を上げている	2
よく理解している	2
もう一度細かいところを聞きたい	1
8割くらいの認知度	1
コロナ関係報道で知った	1
どう活用したらいいかわからない方が多い	1
一般的にも浸透してきていると思う	1
入力ミス	1
休校措置	1
返品	1
売り上げ減	1
変色	1

フードバンクに関わるきっかけ

別のフードバンクとのかかわり	3
福岡市共働事業の説明会	2
前任担当者の紹介	2
こども未来局	1
ホームページ	1
社内プロジェクト	1
子ども食堂での貧困の実態	1
あすみんからの紹介	1
自立支援施設からの情報	1
SDG s	1

フードバンクに関わって良かったこと

食品ロス削減	4
社会貢献	4
やりがい	1
経費でも落とせる	1
罪悪感からの解放	1
フードバンクへの理解促進	1
食べ物として活用	1
喜んでもらえた	1



提供企業から寄せられた意見

食品ロスをなくすにはどうしたらよいか、社会貢献をどうしたらよいか考えていた時に共働プロジェクトの説明会があり参加した。考えていた以上に活用してもらえてよかった。経費でも落とせるし、社会貢献にもつながる。

フードロスを減らすために、最初は市のこども未来局を通じ食材譲渡を行っていたが、今はフードバンクで一手にコーディネートしてもらい助かっている。

最初は広島のフードバンクとの関わりから始めた。北九州→福岡とつながった。可食にもかかわらず廃棄していた罪悪感から解放された。

フードバンクとの提携を起案する中で、無償でなぜ？責任は？転売されないか？の声があがった。フードバンク側と合意書を交わす事で理解を得ることが出来た。

フードバンクの活動を行う際には輸送経費も含めて検討しておかないと、フードバンクの財政を圧迫することになる。

全体的にフードバンクの認知度は低いのではないかなと思う。多くの人に知ってもらう取り組みが必要なのではないか。

ロスについて再認識し、フードバンクの活用で有効活用してほしい。本社はCSRの取り組みイメージがあるが、支店のなかではまだ認識は薄い。

社内グループのメンバー内では8割くらいの認識しかない。子ども食堂等での体験が出ると認識も変わってくるのではないかなと思う。

フードバンク輸送のためだけ冷凍車をもつのは無駄が多くなるため、今のところ業者に協力いただきながら持ち込んでいるが、持ち込み場所が市内及び毎日受け付けてもらえると助かる。



食品提供してくれている企業

食品を提供いただいている企業は 139 社にのぼり、食品メーカー以外でも、備蓄品の提供をしていただいている企業も多くあります。

JR 九州リテール（株）	公益財団法人福岡市学校給食公社
Trete torois（トランテ・トロア）	合同会社三宅牧場まきば
愛知ヨーク（株）	コカ・コーラウエスト株式会社
石井食品株式会社	五洋食品産業（株）
糸島みるくぷらんと	ソフトバンク（株）
エフコープ生活協同組合	ダイドードリンコ（株）
（株）一蘭	ニビシ醤油（株）
（株）九食	宮崎ファーミング有限会社
（株）五十二萬石本舗古賀工場	有限会社九州パワーグループ
（株）菜根譚ルキア	有限会社山八
株式会社ドール	（株）釣八 福岡支店
株式会社ピエトロ	日本食研ホールディングス株式会社
（株）唐人ベーカリー	ロイヤルホールディングス株式会社
（株）永谷園ホールディングス	雪印メグミルク株式会社九州統括支店
（株）福岡ミツヤ	イケア・ジャパン株式会社
（株）プレナス	一般社団法人九州経済連合会
カルゲン製薬株式会社	株式会社ダイショー
九州太平寺商事株式会社	株式会社レオパレス 21 福岡法人部
九州電力（株）	ケンミン食品株式会社 他
キューピータマゴ（株）鳥栖工場	2021 年 3 月現在 139 社

フードバンク福岡の活動支援について

フードバンク活動への支援は、食品の提供だけでなく様々な方法があります。この冊子を見て、少しでも興味を持たれた方は、まずは事務局までご一報ください。ご協力よろしくお願いいたします。

■ボランティアスタッフで支援

- ・食品の運搬、管理
- ・フードドライブの運営
- ・広報物作成、会計管理、資金調達 など

■モノで支援

- ・クーラーボックスや保冷剤
- ・冷蔵庫や冷凍庫
- ・事務用品(コピー用紙やプリンター等)
- ・自社の配送車両等を使った食品運搬 など

■お金で支援

フードバンク活動は無償で行っており、収益を上げることができないため、送料や運営費などを寄付に頼らざるを得ません。ぜひご協力をお願いします。

※法人がフードバンクへ寄付を行った金額は、一定の限度額までが損金に参入されます。

■場所で支援

- ・フードドライブ会場の提供
- ・食品の一時保管場所の提供
- ・寄付型自動販売機の設置
- ・寄付つき商品の販売 など



「もったいない」をなくし 「おすそわけ」を当たり前



特定非営利活動法人
フードバンク福岡

フードバンク福岡は、食品を分かち合い、ムダなく活用されることで豊かな社会を目指しています。

活動見学・倉庫視察なども
お気軽にお問い合わせください。

〒811-1352 福岡市南区鶴田 4 丁目 48-4

TEL(092)710-3205

FAX(092)710-3206

E-mail:fbfukuoka@gmail.com

<https://www.fbfukuoka.net/>

【宗像事務所】〒811-3114 古賀市舞の里4-2-11

エフコープ宗像支所内

【サテライト久留米】〒839-0804 久留米市宮ノ陣町若松1272-1

オルタナティブスクール未来学舎1F

【下原ベース】〒813-0002 福岡市東区下原4丁目2-1

BRANCH福岡下原内





【フードバンク福岡】
令和2年度調査結果報告書
2021年3月発行

発行・監修 フードバンク推進実行委員会

フードバンク推進実行委員会は、特定非営利活動法人
フードバンク福岡と福岡市環境局事業系ごみ減量推進
課との協議体です。

お問い合わせ

特定非営利活動法人 フードバンク福岡

〒811-1352 福岡市南区鶴田4丁目48-4

TEL(092)710-3205 FAX(092)710-3206

E-mail:fbfukuoka@gmail.com

<https://www.fbfukuoka.net/>